

2015
January

学生だより

vol.36

発行人/金澤 紀子 発行/公益社団法人 日本歯科衛生士会
 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19 TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023 <http://www.jdha.or.jp/>

確かな学びは、礎に



徳島大学 歯学部 口腔保健学科



名古屋ユマネテク歯科製菓専門学校



河原医療大学校



東京歯科大学歯科衛生士専門学校



札幌医学技術福祉歯科専門学校



M e s s a g e

歯科衛生士に対する
社会の期待が高まっています!

公益社団法人 日本歯科衛生士会
副会長 武井 典子

超高齢社会を迎え、「健康寿命の延伸」が国民の願いであり、また国の重要な施策にもなっています。そうした中、最近の研究から口腔状態が全身の健康に大きく影響することが明らかとなり、さまざまなライフステージや場面における医科歯科連携によるオーラルケアの重要性が高まっています。そしてそれに伴い、歯科衛生士に対する社会の期待が大きくなっています。この期待に応えるためにも、学生時代の学習を基礎に、卒後も継続的に歯科衛生士会や日本歯科衛生士会の生涯研修や業務に根ざした研究を続け、歯科衛生業務の専門性の深化を図り、チーム医療の一翼を担う歯科医療専門職としての実力向上につなげてほしいと願っております。

P4・5に各校の学校紹介、学校自慢を掲載しています。

輝け 未来の 歯科衛生士

学 生
紹 介

今回ご紹介する皆さんは、歯科衛生士という職業に興味を持って入学され、その後、歯科衛生士業務の奥深さ、幅広さを知ったようです。先生方に指導していただきながら、友人たちと励み合って、患者さんに信頼される歯科衛生士として活躍できるよう、日々頑張っていると思います。心から応援しています。



北原学院歯科衛生専門学校
3年

黒田 麻美さん

大学卒業後、一般企業に勤務。
その後歯科医院にて歯科助手として勤務。

1 Answer 私は以前、歯科とは全く関係のない業種に就いていました。転職を機に、何か人の役に立てる仕事がしたいと思い、さまざまな仕事を調べました。小さなころから歯医者が好きだったので、歯科衛生士という仕事に興味を持ち、将来性のある資格を取っておきたいという考えもあり、歯科衛生士を目指すことに決めました。

2 Answer 「歯科医院にいるお姉さん」というイメージで、入学前は歯科助手と歯科衛生士の区別もつきませんでした。しかし、学校で歯科衛生士の業務を学び、アシスタントではなく、患者さんのことを考えて判断し、行動しなくてはいけない責任感のある仕事だと改めて感じました。人々の健康のために働く、すばらしい職業だと思いました。

3 Answer 私は現役ではないため、入学前はクラスメイトとうまくやっていけるか不安に思っていました。入ってみると年齢層もバラバラで、すぐに打ちとけることができました。勉強量も多く辛いこともありますが、楽しい学生生活を送っています。私のクラスはとても雰囲気がよく活気もあり、本当にクラスメイトに恵まれたと感謝しています。

4 Answer いつも笑顔で患者さんに安心感を与えられるような、信頼できる歯科衛生士になりたいです。歯科衛生士の仕事はさまざまな知識と技術が必要なので、安心感を与えられるようになるためには、自分に自信を持つことが何より重要だと思います。自信を持つよう、努力を怠ることなく常に向上心を持ち、自分の人間性もみがいでいきたいです。



1 Answer 私が小さいころから通っていた歯科医院では、毎回決まった歯科衛生士さんが診てくださり、とても優しく親しみやすい方で、歯科医院に行くのが楽しみでした。そのころから歯科衛生士という職業に興味を持ち、調べてみると、人と接することが好きな私にぴったりだと思い、目指すことを決めました。

2 Answer これまで私にとって歯科衛生士は、歯のみがき方を教えてくれるお姉さんというイメージしかありませんでした。しかし、学校で学ぶうちに歯科医院だけでなく、さまざまな現場で子供から高齢の方まで幅広い世代に携わることのできる魅力的な職業だと思いました。

なにわ歯科衛生専門学校
昼間部 3年生

木村 明日香さん

大阪市立天王寺商業高等学校
卒業



3 Answer 今まで生きてきた中で最も充実している3年間ではないかと思うほど、濃い学校生活です。学ぶことがたくさんあり、病院・一般歯科への実習もありました。時には辛いこともありましたが、共に悩み、支えあってきた友達、親身になって話を聞いてくださる先生方のおかげで、頑張れていると思います。日々感謝しています。

4 Answer 歯科衛生士の仕事を誇りに思い、患者さんはもちろん、一緒に働くスタッフの方からも信頼される歯科衛生士になりたいです。そのためには、これから先も勉強に励み、すばらしいスキルを身につけ、向上し続けていきたいです。



アンケート内容

Q1 歯科衛生士を目指した動機

Q2 今までの歯科衛生士に対するイメージ

Q3 学校生活について

Q4 将来どんな歯科衛生士になりたいですか？



鳥取県立歯科衛生専門学校
3年

岸本 凧さん
鳥取県立鳥取商業高等学校
卒業



1 Answer 小学生の頃、一度に何本か抜歯をしたことがあり、その時、恐怖心でいっぱいだった私をずっと励ましてくださったのが歯科衛生士の方でした。手を握って「大丈夫。頑張ろう!」と声をかけ続けてくださったことを覚えています。高校卒業後の進路を考えていた時、母に歯科衛生士を勧められ、私もあの時のような歯科衛生士さんになりたいと思ったのがきっかけです。

2 Answer 小さい頃に歯科医院へ行ってた時は、歯科衛生士の仕事についてよく知らなかったのですが、仲良くおしゃべりしてくれる、美人で優しい女の人が、歯科医師の治療のお手伝いをしているという印象が強かったです。

3 Answer 入学してからは、多くの専門的教科を勉強することで、頭の中がバンクしそうになり、1年間の臨床実習では、何度もくじけそうになりましたが、クラスの皆と同じ目標に向かって励まし合い、のり越えられたこと、そして毎日笑って過ごせていることに、とても幸せを感じています。また相談ののってくださる先生方に恵まれていることにも感謝しています。

4 Answer 私が憧れる歯科衛生士像は、患者さんに「ぜひ、あなたに診てもらいたい」と思っただけになることです。技術の向上も身につけていきたいと思いますが、誰からも信頼され、安心して任せいただけるような、歯科衛生士になることが目標です。そのためには、日頃の勉強や、人とのコミュニケーションの取り方など、日々精進していきたいです。



鹿児島医療福祉専門学校
歯科衛生学科 3年

上之原 綾香さん
鹿児島県立加治木高校
卒業



1 Answer 医療関係に興味があり、中でも定期的に検診に通っていた歯科医院は私にとって、一番身近な医療機関でした。学校のオープンキャンパスでの体験がとても新鮮で楽しく、歯科衛生士に対し、より興味をもち、もっと詳しく学んでいきたいと感じたのがきっかけです。

2 Answer 歯科医師のお手伝いをする看護師さんのようなイメージでしたが、勉強していくにつれ、幅広く活躍されていることを知りました。患者さんが来るのを待つだけでなく、歯の大切さを多くの人に伝えることも必要だと感じました。また、歯科衛生士による歯や口腔の健康のサポートは、全身の健康にも関わる重要な役割であることを知り、さらに魅力を感じました。

3 Answer 専門的な授業や実習は歯科衛生士に一步步近づいているようで毎日充実しています。また、私の学校は歯科衛生学科以外にも看護、介護福祉、理学療法、助産の4つの学科があります。学校行事等を通し他職種とも関わることができ、共に医療従事者を志す仲間として日々学んでいます。

4 Answer 一人ひとりの患者さんとの向き合い、患者さんやスタッフからも信頼され、気配りができる歯科衛生士を目指していきたいです。また、治療に携わるだけでなく、治療を終え帰るようになった患者さんのその後の栄養面や精神面までサポートできる歯科衛生士を将来の目標にして努めていきたいです。

学校法人 河原学園

河原医療大学校

本校は、松山市駅にほど近い、俳人正岡子規の生誕跡に隣接し、松山城に見守られ、文化の薫り高い松山市の中心部に位置しています。

本学科は、愛媛県立歯科技術専門学校の閉校に伴い、その伝統を継承すべく校舎を新築し、最新の設備を整え、平成22年度に開校しました。6学科併設のメリットを活かし、他の医療職を目指す友人達ともふれ合う中で、「チーム医療」を実践しながら「人」に関わる知識や技術を修得することができます。開校以来、国家試験100%合格！就職率100%！を達成しています。

『感謝の心』の教育理念のとおり、学校生活を通して、他者を思いやる心、チームワーク、積極性、責任感、実行力などの人間力の育成に取り組んでいます。

歯と口の健康週間



宣誓式



I ♥ 河原



スポーツフェスティバル



歯科保健指導



スポーツ(車椅子ダンス)



実習風景(患者実習)



学園祭



DHになりたいっ!



学校法人 あいち大橋学園
名古屋ユマニテック歯科製菓専門学校
歯科衛生学科

授業風景



学内実習



春レク★皆でBBQ



スポレク



臨地実習★遣り甲斐あります



～2年次～ 臨床式



製菓実習 美味しく作れました!



～3年次～ 研修旅行★皆でハイポーズ



卒業 おめでとう!



本校は平成17年に開校し、今年で10年目を迎えました。
=HUMANITEC=「豊かな人間性に基づく、確かな技術」を学園の教育理念とし、本学科では、医療人として思いやりの心や謙遜する心を持ちつつ、主体性を持って社会貢献できる人材の育成を目指しています。ユマ学生は、いつも元気で、校舎からは学生の声聞こえてきます。友達と励まし合い、学生の可能性を信じる教員からは叱咤激励と、学生と教員が一体となり3年間の学生生活に取り組んでいます。

HUMANITEC DENTAL HYGIENIST+

学校法人西野学園
札幌医学技術福祉歯科専門学校 歯科衛生士科



小学校での歯科保健指導



模擬患者実習



宿泊研修



バスハイク in ルスツリゾート



学園附属幼稚園での
歯科検診見学実習



学校祭



本校歯科衛生士科は、平成15年に北海道初の3年制養成校としてスタートし、今年12年目を迎えました。西野学園は、道内4校に医療・福祉系の12学科がある、幼稚園、学童保育、看護師・社会福祉士の通信制課程等を併設している開学50周年の学園です。「わかる授業」の実践に取り組み、入学前教育から卒業後の就職支援まで一貫した学生指導を行っています。



東京歯科大学歯科衛生士専門学校



※基礎実習※



※学外研修※



※卒業研究発表会※



※登院式※

本校の創立は昭和24年であり、日本の歯科衛生士の歴史と共に歩んできました。
キャンパスは千葉県千葉市にあります。都会から少し離れた環境で四季を感じながら、学生はのびのびと学んでおります。
また、敷地内の東京歯科大学千葉病院で1年間臨床実習をしています。本校の学生は3年間の教育で、医療人としてだけでなく、人としても豊かに成長し、巣立っていきます。



※修学旅行※



※臨床、臨地実習※

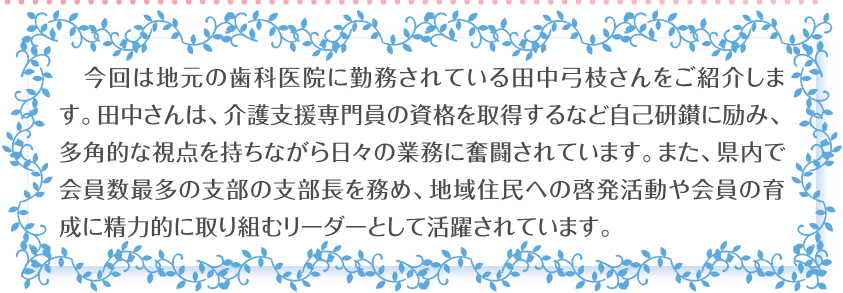


※千歯祭※



出会いこの人

FILE 14 田中 弓枝さん(島根県歯科衛生士会)
内田歯科医院(松江市)



今回は地元の歯科医院に勤務されている田中弓枝さんをご紹介します。田中さんは、介護支援専門員の資格を取得するなど自己研鑽に励み、多角的な視点を持ちながら日々の業務に奮闘されています。また、県内で会員数最多の支部の支部長を務め、地域住民への啓発活動や会員の育成に精力的に取り組むリーダーとして活躍されています。

歯科衛生士を目指したきっかけ

私が歯科衛生士を目指すきっかけとなったのは、中学生の時が最初でした。中学校の正面に歯科医院があり、いつも信号待ちの時に歯科医院の様子を遠くから見ていました。ただ、その時は「歯科衛生士」という職種を知らず、歯医者さんで働くかっこいいお姉さん・・・という印象でした。しかし、高校2年生の進路を決める時、中学生の時のことを思い出し、どのような職種なのか本格的に調べ「歯科衛生士」という職業を知りました。

人と直接関わり、貢献できる職業に就きたいと思っていた私は、歯科衛生士なら思いが叶うかも!と思い、歯科衛生士になりたい!と両親や担任の先生に思い切って打ち明け、地元の専門学校を受験し通うことになりました。入学後は、歯科衛生士は立派な医療職であり、人の健康をサポートする大変な仕事だということを認識すると同時に、歯科衛生士の求められる場は歯科医院だけではないことがわかりました。

私は、診療の場だけでなく、地域でも貢献できるような歯科衛生士を目指して地元の歯科医院へ就職しました。

仕事の内容

私が現在勤務している歯科医院は、歯科医師1名、受付2名、歯科衛生士6名、歯科技工士1名で診療を行っています。診療補助・保健指導・予防処置のような院内業務の他に、園歯科医をしている幼稚園へ出向き、歯科健診時に劇を通して歯の大切さやむし歯予防等を伝えています。また、居宅や高齢者施設などへ往診にも出かけて行きます。地域や他職種との関わりが増えるにつれ、専門的知識だけでなく、全身疾患の知識の必要性も感じるようになりました。また、サポートする方のバックグラウンドをいかに把握し、配慮できるかということも求められてくると感じました。



やりがい・魅力

現在、開業医に勤務していますが、患者さんとの信頼関係を築くことができ、「あなたに診てもらえて良かった」と言ってくれた時はとても嬉しく、やる気に満ちてきます。また、院長をはじめスタッフとの院内ミーティングや研修会で学んだことが診療に活かされた時にもとてもやりがいを感じます。



長年歯科衛生士をしていて感じることは、歯科衛生士は赤ちゃんから高齢者まで、どのライフステージの方にも寄り添いサポートすることができる職業だということです。

う蝕や歯周疾患のサポートはもちろん、乳幼児期の方への食育・顎の発育、青年期の方への食生活を通じた生活習慣病の予防・改善、壮年期の方への口腔環境の改善・整備、高年期の方への口腔機能の維持・向上、また全身疾患の発症等により通院困難になった方への居宅や施設への訪問。と、さまざまなことへのサポートができます。大変な重責ではありますが、だからこそやりがいがあり、魅力的なところだと思います。しかし、どのライフステージの方から相談を受けても適切なサポートをすることは容易なことではありません。医療の技術・知識は日進月歩のため、研修会等で研鑽を積む必要があります。そうした場合、歯科衛生士会の存在がとても大きなものとなりました。さまざまな研修会を開催し、情報を提供してくれることはもちろん、いろいろなフィールドで活躍している歯科衛生士とのネットワークづくりの場ともなっています。現在、島根県歯科衛生士会の支部長をしています。院内



の枠に囚われず歯科衛生士がスクラムを組むことで、どのライフステージの方へもサポートが適切にできると痛感しています。

学生さんへのメッセージ

医療職である歯科衛生士は生涯勉強・研鑽が必要ですが、それは学校で学んだものが基礎となっていきます。教科書とのにらめっこはとても大変だと思いますが、今しかできないことを学んでいるのだと思い頑張ってください。そして、夢や希望を持った歯科衛生士になってください。一緒に歯科衛生士という職業を盛り上げていきましょう。待っています!



Profile

プロフィール

た な か ゆ み え

田中 弓枝さん

1998年
島根県歯科技術専門学校卒業

1998年
医療法人大町歯科医院勤務

2005年
松江市役所介護保険課勤務

2006年
内田歯科医院勤務 現在に至る



*写真はご本人の了解を得て掲載しています

多職種連携を学びましょう!

「多職種連携」について、愛知学院大学短期大学部 歯科衛生学科 高阪利美教授に寄稿していただきました。医療の現場に出たときに、多職種との連携は必要不可欠なことであり、学生のうちから、それらを学ぶことはとても大切です。

高阪先生は、さまざまな場で多職種との連携の重要性を伝えていらっしゃいます。今回は、先生の学校での取り組みをご紹介します。

多職種連携の必要性

愛知学院大学短期大学部 歯科衛生学科 教授 高阪利美

近年、超高齢社会に入り、医療の現場においては医療専門領域がますます細分化され、自身の専門領域には目を向けることはできても、他の領域との

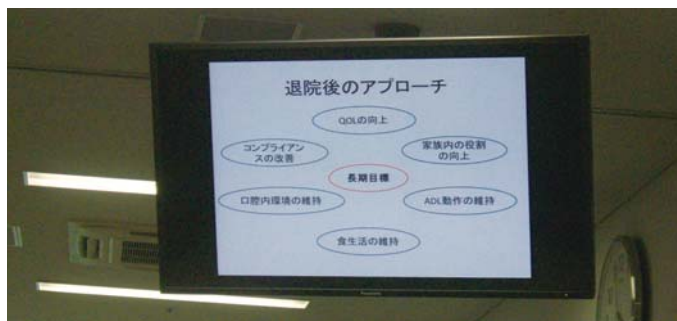


違いや治療やケアの仕方の違いなどで、課題や困難を認識することがあります。歯科衛生士は歯科疾患の予防および口腔衛生の向上を図ることを目的として、歯科衛生士業務を实践し、また、高齢者・障害者に専門的な口腔のケアを行うことにより、食生活、話すこと、笑うことなど、日常生活ができるよう、口腔機能の面からサポートすることが求められています。一方、歯科衛生士の教育は、歯科衛生の専門性をしっかり学ぶことができるようカリキュラムができています。しかし、卒業後に就職した病院勤務の歯科衛生士や在宅歯科医療を行う歯科衛生士は、歯科医師をはじめ他職種の医療職との連携のもとで、仕事を進めていかなければなりません。そこで今回、本学歯科衛生学科専攻科学生が、岐阜大学医学教育開発研究センターによる、東海地区の医療系教育機関と協働し、医学、歯学、薬学、看護、作業、理学、社会福祉、管理栄養の学生たちと一緒に専門職種連携セミナーに参加し、他職種学生と治療ケアプラン作成に取り組みました。

このセミナーに参加した歯科衛生学生は、他の職種の学生たちから、「歯科衛生士は歯みがき以外に何ができるの?」という質問を受けました。口腔のケアをはじめ口腔の機能訓練を行うこと、さらに歯科予防処置、歯科保健指導、歯科診療補助など、歯みがき指導以外の重要な業務ができると認識している歯科衛生学生は愕然とし、全身の栄養の入り口である、歯や口腔のケアについての重要性を訴えました。さらに、口腔のケアをするためには、自身の業務以外にも、介護保険の知識、行政への働きかけや、生命を維持できる身体をつくるために、誰に何を依頼することができるのか、また誰が、どのような専門的ケアをしている



のか、といった理解が必要であると認識しました。特に口腔のケアを行う歯科衛生士にとって、歯みがき一つにしても体を起こして歯



みがきしてもらいたい、飲み込めないのは舌の挙上ができないのか、義歯があっていないのか、などいろいろな問題点が明確になると、歯科衛生士だけでは解決できない事柄に直面します。口腔は体の一部ではありますが、全身につながる部分であり、そのことは、口腔だけの問題で解決できないことにもつながるということなのです。つまり多職種の専門性をよく理解しなければいけないことを学生は痛感したのです。

今回、このセミナーに参加した学生たちは、他職種の学生たちに歯科衛生士の業務についてほとんど理解されていないこと、今後医療連携を必要とする歯科衛生



士にとって、歯科衛生士業務をもっと広く認知してもらう必要性があることを実感しました。さらに歯科衛生士側から、プラークの存在や現状の口腔機能の状態、機能訓練などの情報提供をすることにより、誤嚥性肺炎の予防や飲み込みなどの機能獲得や向上につながるなど、医療現場での多職種連携が具体的にイメージできるようになりました。今後、超高齢社会を迎えた現在、歯科医療において、このような多職種連携教育が必要になってくると思われます。





JAPAN DENTAL
HYGIENISTS' ASSOCIATION

入会の申し込みは…

簡単4Step!

Step 1

ホームページから簡単申し込み!
入会申し込みフォームに入力します

※ホームページを開覧できない方は
各都道府県歯科衛生士会
もしくは日本歯科衛生士会まで
ご連絡ください
(☎0120-802039)



Step 2

都道府県歯科衛生士会から
必要な書類が送付されます



Step 3

入会金・
会費などを
支払います



Step 4

入会完了
会員証が
届きます



会 費

年会費は、いつ入会しても、4月1日から翌年3月31日までの1年間で前納制になっています。
学生会員からの入会は日本歯科衛生士会入会金が免除となります。

入会金 2,000円 年会費 7,000円

*都道府県歯科衛生士会ごとの会費が加わります。金額については各事務局にお問い合わせください。

日本歯科衛生学会 学術発表賞に学生研究賞が新設されました

日本歯科衛生学会 学術発表賞に学生研究賞が新設されました。平成27年9月20日(日)~22日(祝)に札幌コンベンションセンターにおいて開催する第10回学術大会での発表が対象となります。発表演題登録および学生研究賞の応募は、3月2日(月)から4月15日(水)正午までです。詳細は、ホームページ(<http://www.jdha.or.jp>)をご参照ください。



お便りお待ちしております

楽しい紙面作りのために、皆さまのご意見や、学生生活の中でのさまざまな情報をお寄せください。

〒169-0072

東京都新宿区大久保2-11-19 日本歯科衛生士会「学生だより」編集係

TEL:03-3209-8020 FAX:03-3209-8023

<http://www.jdha.or.jp/>